

2019年5月

事業者各位

## 主催 小田原産業労働団体連合会



(公社)神奈川労務安全衛生協会小田原支部  
 建設業労働災害防止協会神奈川県支部小田原分会  
 陸運労働災害防止協会神奈川県支部小田原分会  
 富士フィルム(株)神奈川工場安全協力会  
 県西地区食料品製造業労働災害防止協議会  
 箱根温泉旅館ホテル協同組合  
 神奈川県石材協同組合  
 足柄上郡砂利協同組合  
 神奈川県印刷工業組合小田原支部  
 協同組合西湘グラヴェル  
 湯河原温泉旅館協同組合

## 後援 小田原労働基準監督署

### 2019年度全国安全週間小田原地区推進大会開催のご案内

拝啓 春暖の候、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、全国安全週間は、本年をもって第92回を迎えることになりました。本年のスローガンは、

『 新たな時代に PDCA みんなで築こう ゼロ災職場 』です。

当地区では、貴事業場が本週間を意欲をもって推進され、効果的な運動として展開されるよう小田原労働基準監督署のご後援のもとに、小田原大会を下記の通り開催することになりましたので、事業者及び関係担当者多数が参加されますようご案内申し上げます。参加申し込みは別紙申込書にてお願い申し上げます。

敬具

#### 記

1. 日 時 2019年6月6日(木) 13:30~16:30 (受付13:00~)
2. 会 場 小田原市民会館 小ホール (小田原市本町1-5-12 TEL0465-22-7146)
3. 内 容
  - (1) 開会のことば
  - (2) 挨拶 小田原産業労働団体連合会長  
小田原労働基準監督署長
  - (3) 小田原地区安全功労者表彰
  - (4) 来賓祝辞
  - (5) 全国安全週間推進内容説明 小田原労働基準監督署
  - (6) 大会宣言
  - (7) 特別講演
 

演題 迫られる働き方改革！  
「残業削減・業務効率化」を考える

講師 島田教育総合研究所 代表取締役  
島田 義也 氏
  - (8) 閉会のことば



## 全国安全週間小田原地区推進大会申込み要領

1. 申込方法 (1)下記申込書にご記入のうえ、**FAXにて5月24日(金)迄**に産団連事務局（神奈川県労働安全衛生協会）宛お申し込み下さい。

FAX 0465-24-5820

**※ 参加票をFAXにて送付しますので、必ずFAX番号の記入をお願いいたします。**

この参加票は、当日の配布資料と引き替えますので大会当日受付に提出して下さい。

- (2)会費は当日支払い、又はさがみ信用金庫への振込みでも受付ます。  
(振込の場合、恐縮ですが振込手数料は貴事業場にてご負担ください)

2. 会費 1名 2,000円 (安全の指標・ポスター代等含む)

3. 定員 先着250名 (会場及び資料準備の為、早めにお申し込み下さい。)

4. その他
- ・当大会の参加受付に関する以外の目的で個人情報を流用することはありません。
  - ・会場には、駐車場がございませんので車でのご来場はご遠慮ください。
  - ・申込み後の取り消しは5月30日(木)までにお願いします。それ以降は準備の都合上お受けできませんのでご了承ください。
  - ・お問い合わせ先 TEL 0465-24-1753

---

## 2019年度 全国安全週間小田原地区推進大会・参加申込書

No.	氏名	参加票No.	No.	氏名	参加票No.
1			5		
2			6		
3			7		
4			8		

※参加票No.は当方で記入いたします

事業場名 \_\_\_\_\_ 住所 〒 \_\_\_\_\_  
(公社)神奈川県労働安全衛生協会  
TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ 所属団体名 \_\_\_\_\_ 小田原支部

※ 会費の支払方法 (下記よりお選び下さい)

会費 \_\_\_\_\_ 円は当日支払います。

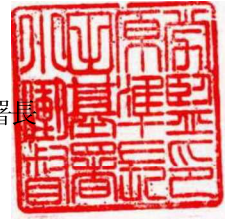
会費 \_\_\_\_\_ 円は \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日信用金庫に振込みます。

振込先 さがみ信用金庫本店 普通0453870 小田原産業労働団体連合会

小田原基署発 0507 第 1 号  
令和元年 5 月 7 日

事業主 各位

小田原労働基準監督署長



平成 31 年（令和元年）度全国安全週間小田原地区推進大会の開催について

時下、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から労働基準行政の運営に御理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、全国安全週間は、昭和 3 年に初めて実施されて以来、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で 92 回目を迎えます。この間、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されました。この努力により、労働災害は、長期的に見ると減少しています。そして、平成 30 年の労働災害は、全国的には、死亡災害は前年に比べて減少しましたが、休業 4 日以上之死傷災害は、3 年連続して前年を上回る見込みです。

このように、死傷災害が全国的に増加していることを踏まえ、労働災害の更なる減少を図ることを決意して、平成 31 年（令和元年）度全国安全週間を実施いたします。そして、スローガンを

### 「新たな時代に PDCA みんなで築こう ゼロ災職場」

とし、6 月 1 日から 6 月 30 日を準備期間、7 月 1 日から 7 月 7 日を本週間として全国的に実施されます。

さて、当署管内においては、平成 28 年 12 月以降、死亡災害は発生していませんでしたが、平成 30 年は、2 件の死亡災害が発生しました。また、休業 4 日以上之死傷災害は、前年に比べて 18 件増加し、合計で 341 件（暫定値）発生しました。当地区においても、労働災害の更なる減少を図るため、別紙のとおり、小田原産業労働団体連合会の主催により、平成 31 年（令和元年）度全国安全週間小田原地区推進大会（後援：小田原労働基準監督署）を開催することになりました。

つきましては、御多忙中、誠に恐縮に存じますが、本大会の趣旨に御理解を賜り、貴殿又は安全担当者の御出席を賜りますようお願い申し上げます。